

*ここでいう「治る」とは診断された時からの5年生存率です。



- がん検診の種類は裏面をご覧ください

胃がん検診

対象 50歳以上偶数年齢の人

検査項目 問診・胃部エックス線検査
または胃内視鏡検査

胃部エックス線検査

バリウム（造影剤）と発泡剤を飲み、
体の向きを変えながら写真を撮影。

胃内視鏡検査

ファイバースコープで胃の内部
を観察し、映像を記録。



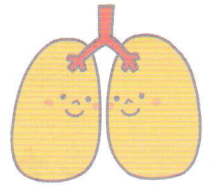
肺がん検診

対象 40歳以上の人

検査項目 問診・胸部エックス線検査
喀痰細胞診（50歳以上で1日の喫煙本数
×喫煙年数が600以上の方）

胸部エックス線撮影で、肺全体の
異常をチェック。短時間で受診可
能な検査。

お得！
500 検診料金500円
集団検診は無料

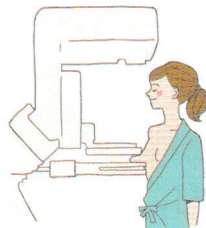


乳がん検診

対象 40歳以上偶数年齢の女性

検査項目 問診・マンモグラフィ・視触診

マンモグラフィは、乳房をプラスチックの板で
挟んでエックス線写真を撮影。
視触診ではわからないような
小さながんも発見が可能。
妊娠中は受けられません。



お得！
500 検診料金500円

乳がんになる人が増えています

一生のうち乳がんになる人の割合

2001年20人に1人

↓
2013年11人に1人

↓
2019年9人に1人

大腸がんは、日本人がもっとも
多く罹患するがんです

（出典：国立がん研究センターがん情報サービス）

子宮頸がん検診

対象 20歳以上偶数年齢の女性
（30～65歳は毎年受診可）

検査項目 問診・視診・内診
・子宮頸部の細胞診

視診・内診は医師が子宮出口である
頸部を診察。
細胞診は、子宮頸部の細胞をブラシ
などで取り検査。

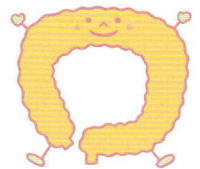


大腸がん検診

対象 40歳以上の人

検査項目 問診・便潜血検査

便の表面をこすり取って微量
の出血（潜血）がないかを検
査。自分で便を取って提出す
るだけなので簡単です。



検診の結果「要精密検査」と判定されたら必ず精密検査を受けましょう

精密検査を受けることで、初めて「がん」かどうか判断されます。精密検査は早期発見のチャンスです!!

